

# 第五代 大館市長

ふくはら

じゅんじ

# 福原 淳嗣

このたび、多くの市民の皆さまのご負託を受け、第五代大館市長に就任いたしました。今、改めてその責任の重大さを感じております。まさに身の引き締まる思いです。しかし同時に、だからこそ「大いなる使命感を持って職責に臨まなければならぬ！」と強く決意をいたしましたところでもあります。

新しい大館市の方向性を指し示すもの、それは「私が行政の長として政治をどのように捉えているのか？」に尽きると考えています。自分の命や幸せよりも大切なものを守り、導くもの、それが政治だと私は考えています。私にとつて大切なもの、それは「ふる里おおだて」です。



## あらゆる政策の根本は 来る人口をどう増やすかの一点

昨年、日本創成会議が非常に衝撃的な報告書を発表しました。いわゆる消滅可能性都市です。秋田県においては、大潟村を除く全ての市町村が入っています。我が大館も例外ではありません。

しかし、私はこう考えています。『ふる里おおだて』の未来を切り開いていくのは、高名な学者や専門家の予想ではない。大館に住み、暮らし、そして生きていく覚悟を持った私たち大館市民の強い意志、そして情熱だ！と。

確かに、住む人口は減っていくかもしれませんが、来る人口は増やして行けるはず。なればこそ「いかにして来る人口を増やして行くか？」あらゆる政策の根本はこの一点に尽きます。

実は同じようなことを考えているのが日本政府です。観光庁を設け日本の魅力を発信すると同時に、為替を円安に誘導し、日本製品の輸出の拡大と海外からの誘客を増加させています。新しい大館は、この経済政策をうまく利用します。

メイド・イン・大館の製品や食材、そしてサービスの輸出と、一人でも多くのお客様にお越し頂ける大館づくりを実現するために「ものづくりの力」と「ものがたりを作る力」、この二つの力をきちんと整えてまいります。

いかにして整えるのか、という政策的な議論については、今後、私と同様に市民のご負託を受けられた大館市議会議員の皆さまが一堂に会する市議会の場で行いたいと思えます。

## 「おおだて」に夢と希望、 安全と安心を創るために

来る人口を増やす政策は、私たちの暮らしの品質を充実・向上させるだけではありません。次世代の「ふる里おおだて」を担う子どもたちには夢と希望にあふれた多様な選択肢を、そしてこれまでふる里を支えてくれた世代の皆さまには安全と安心をもたらしはります。

教育委員会の在り様は大きく変わっていきます。大館ならではのカリキュラムの存在が更に来る人口を増やすきっかけになるでしょう。

地域包括ケアシステムの整備も急がれます。大学病院等の三次医療機関を持たないこの地域だからこそ、健康増進のまちづくりと併せて一次・二次医療機関の有機的な連携を通じた、医療や介護を始め、住まい・介護予防・生活支援のサービスが必要ときに適切に受けられる仕組みが必要です。

「ふる里おおだて」に夢と希望、そして安全と安心を創り出す、そのためにこそ来る人口を増やし、確かな経済的な基盤（財政的な基盤）を構築しなければなりません。

## 危機を好機に！

私たち大館市民がこれから歩む時代は、先人が経験したことのない非常に困難なものとなることは間違いありません。

しかし、大館市民は「絶望的な未来を超えていく勇氣」を持っていると私は信じています。あとは、長である私が「その勇氣を奮い立たせられるか否か」であります。「危機を好機に！」私たちの挑戦はこれから始まります。

困難な時代だからこそ、私も含めた市の組織が大館市民の希望となれるよう、全身全霊をかけてその職責を果たすべく頑張っています。